

## 2023年度

科目名称	障害者福祉論
授業コード	BL259
英語名称	
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	浅沼 太郎 (医療科学部), 阿部 正太 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	障害と「障害者」を生み出す現代社会のメカニズムとその実態、障害者の基本理念、法制、政策、サービスなどの諸体系を学ぶ。 「障害」という言葉が意味する内容を現代社会において問い直す。だれが障害者であり高齢者であるかは、その社会が決定している。まず、障害と「障害者」を生み出す現代社会のメカニズムとその実態を学ぶ。つぎに、障害への具体的対応を、理念、政策、法制度、サービスなどの諸体系から把握する。さらに、諸外国の状況を学ぶことで、日本の障害者福祉を相対的に評価し、人権を中核においた今後の障害者福祉のあり方を考える力を養うことを目的とする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	障害者福祉施設、独立型福祉士事務所での実務経験をもとに、ソーシャルワークの視点から当事者主体の支援とは実際に何をして、どのように考えるのか、具体的な事例を提示しながら学生の理解が深まるように講義する。
到達目標	1.障害者福祉の基本理念を理解する 2.障害者に関する法と制度を理解し、ソーシャルワーク実践のあり方を検討できる 3.カリキュラム・ポリシーに掲げる「多様な文化社会的背景をもつ人を理解し、福祉的課題を考える」「福祉専門職等と連携しながら住民の生活支援の実際を学ぶ」「社会福祉士、精神保健福祉士として必要な知識や技術」を修得する。
計画・内容	1 障害概念と特性：国際生活機能分類（ICIDHからICF）の構造、障害者の法的定義 2 障害者の生活実態と取り巻く社会環境：生活実態と社会環境の課題 3 障害者の生活実態と取り巻く社会環境：コンフリクト、障害者虐待、親亡き後等の課題 4 障害者福祉の歴史：近代社会と「障害」、人権概念の創出と障害者の発祥のメカニズム 5 障害者福祉の歴史：優生政策と福祉国家 6 障害者福祉の歴史：隔離と収容の系譜、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン 7 障害者福祉の歴史：障害者権利条約と障害者基本法 8 障害者に対する法制度：障害者総合支援法、児童福祉法 9 障害者に対する法制度：身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法 10 障害者に対する法制度：障害者虐待防止法、障害者差別解消法、バリアフリー法 11 障害者に対する法制度：障害者雇用促進法、その他法制度の解説と課題の理解 12 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割：関連機関の役割 13 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割：専門職の役割 14 障害領域における社会福祉士と精神保健福祉士の役割：役割機能と実際 15 障害者と家族等に対する支援の実際：地域・就労・居住支援、生活支援の実際
授業の進め方	講義を中心にして進める 教科書を中心とした講義に加え、適宜資料を配布する 国家試験過去問題を一部用いて、基礎知識の解説を行う
能動的な学びの実施	予習として法制度を調べる課題を提示し、授業中に解説を行う テーマを設定して、グループディスカッション等を行う
授業時間外の学修	予習：原則、各回授業タイトルに関する事項についての情報を主体的意識的に得ていること（約60分） 復習：各回授業内容について、反芻思考し、ノートにまとめること（約90分）

## 2023年度

教科書・参考書	<p>(教科書)          ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2023』          福祉臨床シリーズ編集委員会編『障害者福祉(新・社会福祉士シリーズ14)』弘文堂、2021</p> <p>両方とも使用します</p>
成績評価方法と基準	<p>毎回の授業課題(60%)、中間まとめ(10%)、期末試験(30%)</p>
課題等に対するフィードバック	<p>授業課題の内容について、次の講義開始時にフィードバックを行う          小テストやテーマを設定した個別課題についても、講義中に講評する</p>
オフィスアワー	<p>CampusSquareを参照</p>
留意事項	<p>本科目は社会福祉士・精神保健福祉士の国家資格指定科目である。履修者には学習習慣を確立し、実際に学習を継続することを期待する。          資格にこだわらず、この分野に関心のある学生を広く歓迎する。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>Zoomによるオンライン(時間割の時間帯)で実施する。CampusSquareで資料配付を行う他、Web上の情報を共有しながら講義を進める。なおZoomで出席する際は、常に画面をオンにしておくこと          変更なし、CampusSquare上で課題提示・回収を行う</p>